

# I 病院報告の概況

## 1 在院患者数

令和2年の年間の在院患者延数は4,378,888人(前年4,550,986人)で、新入院患者数は105,833人(同113,583人)、退院患者数は106,288人(同113,636人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると11,964.2人(同12,468.5人)で、前年に比べ504.3人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,659.4人(総数の80.7%)で、前年の10,104.2人に比べ444.8人、精神科病院では2,304.7人(同19.3%)で前年の2,364.3人に比べ59.6人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では4,807.7人(総数の40.2%)で、前年の5,060.5人に比べ252.8人、精神病床では3,651.9人(同30.5%)で、前年の3,718.4人に比べ66.5人減少している。結核病床では、17.2人(同0.1%)で前年の13.6人に比べ3.6人増加している。

なお、療養病床では3,483.5人(総数の29.1%)で、前年の3,675.9人に比べ192.4人減少している。

## 2 外来患者数

令和2年の年間の外来患者延数は3,400,971人(前年3,676,602人)である。1日平均に換算すると患者数は9,292.3人(同10,072.9人)で、前年に比べ780.6人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では8,566.5人(総数の92.2%)で、前年の9,322.1人に比べ755.6人減少し、精神科病院では725.8人(同7.8%)で前年の750.8人に比べ25人減少している。

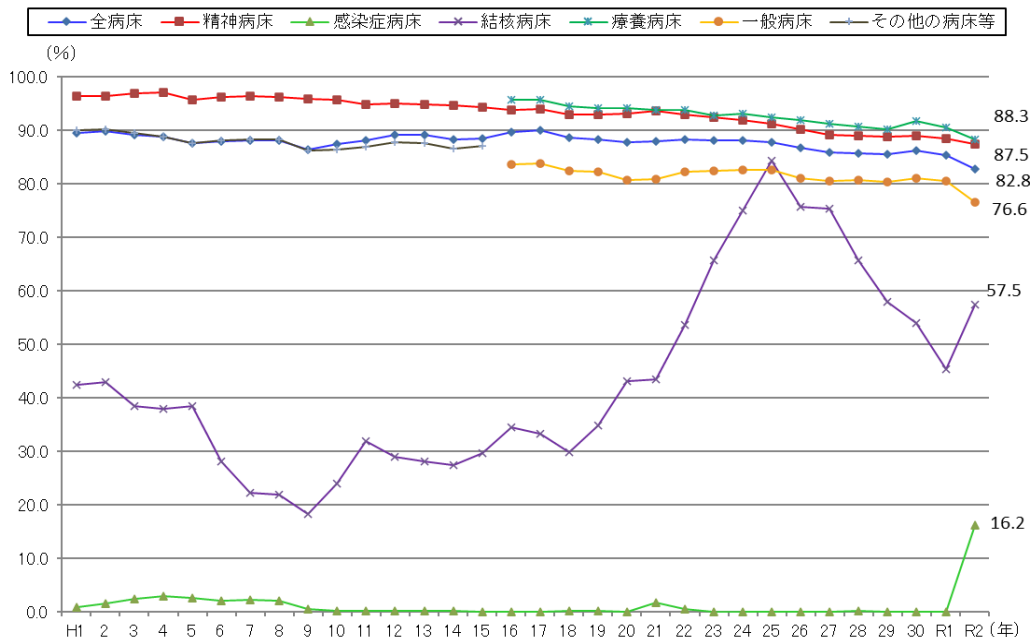
## 3 病床利用率

全病床における病床利用率は82.8%(前年85.4%)で、前年に比べ2.6ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が88.3%(同90.6%)で最も高く、次いで精神病床が87.5%(同88.5%)となっている。また、新型コロナウイルス感染症の患者が発生したため、感染症病床の利用率が16.2%(同0.0%)と増加した。

保健所別では、杵藤保健所が87.8%と高く、佐賀中部保健所が79.4%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。